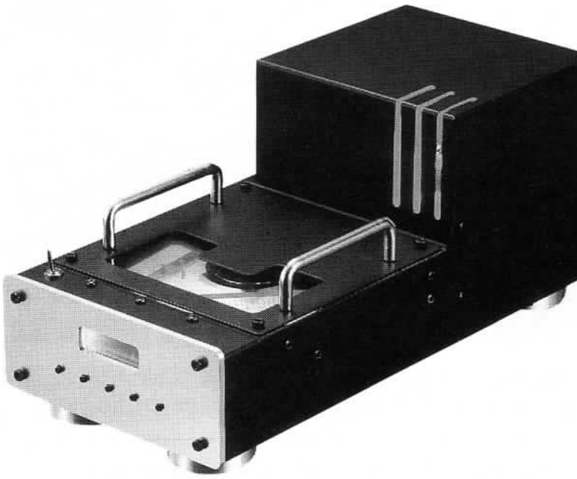
イーケイジャパン TU-876CD 真空管バッファー付きCDプレーヤー

¥28,800



●主な仕様
使用真空管：6189W(12AU7)×1
サンプリング周波数：44.1kHz
周波数特性：20Hz〜20kHz
出力電圧：1.9V(0dB時)
電源・消費電力：AC100V(50/60Hz)・5W
寸法・重量：135W×125H×290Dmm・約3kg
●付属品：RCAピンケーブル
●問い合わせ・資料請求先
(株)イーケイジャパン MJ4係
〒818-0105 福岡県太宰府市都府楼南2-19-30
TEL 092-923-8230
ホームページ http://www.elekit.co.jp

コンパクトで魅力溢れる真空管アンプキットを提供しているイーケイジャパンから，ユニークなCDプレーヤーキットが発表された．イーケイジャパンは福岡県太宰府市に本拠をおくキットメーカーで，エレキットシリーズなる電子工作キットや真空管ラジオ，真空管アンプなどのキットを販売し，最近ではステレオコンポ化したTUシリーズでマニアからも注目を集めている．

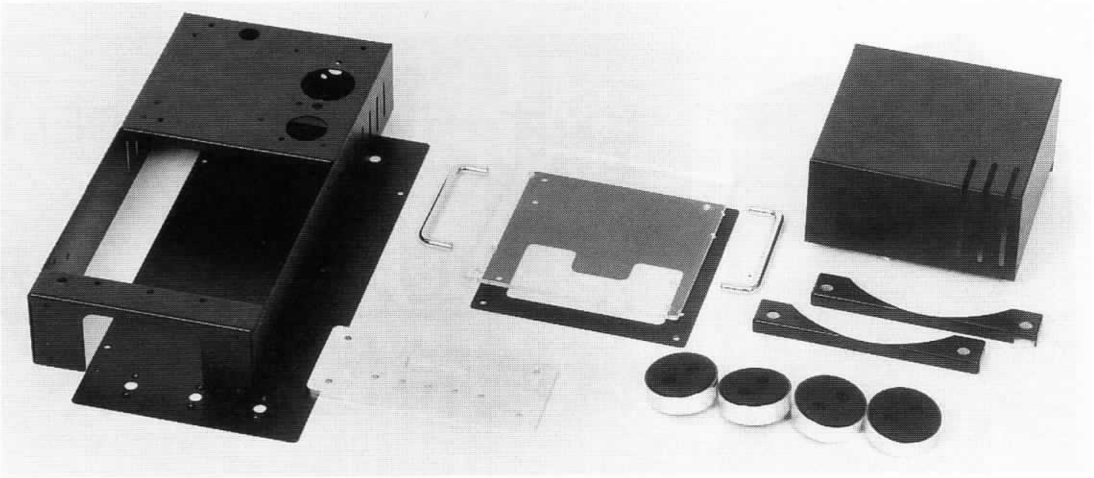
CDプレーヤーのキット化は前代未聞であるが，考えてみればごくあたりまえのことかもしれない．CDヘッドフォンステレオをはじめとして，パソコン用のCD-ROMドライブなど，CDドライブユニットは小型化が進んでいるのだ．問題はこのユニットをどう使いやすくまとめるかであって，この点では，同社得意の開発力でユーザーに好評を得ているTUシリーズキットと同デザインのケースにまとめている．これにより外観的にもTUシリーズとコンポシステムを組むことができるようになった．

組み合わせるとすれば，6BM8を使ったステレオパワーアンプTU-870(¥19,800)をメインに据え，ハイブリッドプリアンプTU-875(¥29,800)，そして本キットのTU-876(¥28,800)となる．価格的にもこれら合計¥78,400で，ちょっとした真空管式オーディオコンポが完成することになる．

本キットは，シリーズ共通デザインの縦長ケース，CDユニット，真空管6189W(12AU7)によるバ



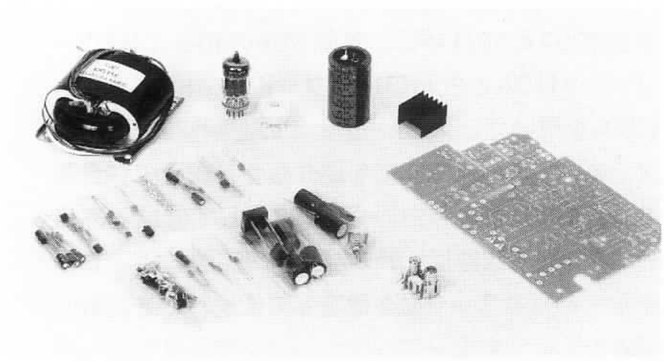
キットの全部品．ユニット化されたCDドライブ部が付属し，D/Aコンバーター部の製作は省かれている．ケース，基板上の電源とバッファーアンプ部の組み立てが主な作業



シャシーは鉄製の黒レザートーン塗装仕上げ．これにアルミ正面パネル，アクリルと鉄板のCD用フタ部分，電源トランスと真空管用のボンネットで構成される．同社の6BM8アンプTU-870，ハイブリッドプリアンプのTU-875と同サイズ



完成ユニットのCDドライブ部．D/Aコンバーターも内蔵されており，コントロール系の結線，メイン基板とのコネクター（電源系と信号系）接続のみで動作する



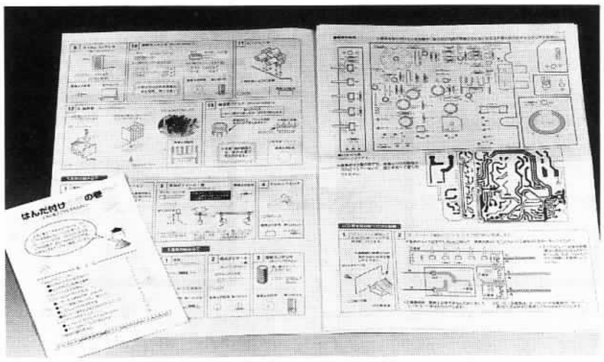
CR類は袋に分類されており，基板は5ピースに分離して使う．最も大きなメイン基板には電源部と真空管バッファーアンプ，ミューティング回路を実装

ッファーアンプ，それにRコアトランス採用の電源部から構成されている．これに加え，全16ページもの組み立てマニュアルが付属しており，初心者であっても間違いなく完成させることができよう．

CDドライブ用ユニットは完成していて，このままでも電源をつなぐだけで動作するものだ．これをケースに収めて，コントロール部をパネル面に取り付け，真空管1段アンプによる出力アンプ部と各部の電源を配線するだけで，CDプレーヤーが自分のものになるという寸法だ．

アンプと電源部の部品点数は少なくないが，プリント基板にこれらをマウントすることで作業は簡略化されている．また，ケースそのものがコンパクトだし，その大半をCDユニットが占めているので，組み込みの作業にはある程度の注意は必要だろうが，慎重に行えばさほど困難ではなかろう．

CDは上部のフタを開けて出し入れするが，トレイタイプにはない味わいもある．CDプレーヤーとパワーアンプの間に真空管アンプをバッファーとして入れるだけで，CDの音が生き生きとしてくるのを経験した人には，うってつけのキットだと思う．



A4判16ページ構成のマニュアルは，イラストと写真を多用して初心者にもわかりやすく解説してある．これに加え，同社キットに共通の，ハンダ作業のノウハウを記載したA6判16ページ「はんだ付けトラの巻」も付属

組み立て説明書も懇切丁寧でわかりやすく，いうことはない．どうせならリモコンでCDのコントロールもできればと思うのだが，そこまで望むのは欲張りすぎだろうか．それにしてもコンパクトで魅力的なキットではある．　　　　（藤本伸一）